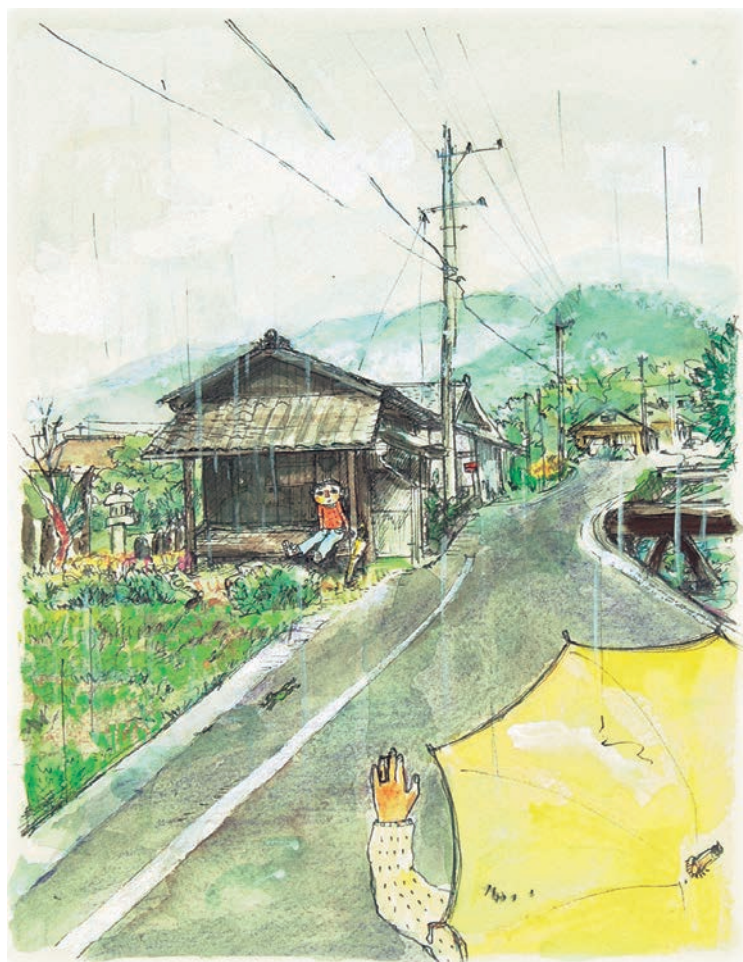


# やまもり通信 6 vol.70

梅雨の時期がやってきました。  
雨が続くとちょっとブルーになりますが、  
雨上がりの景色はなんだかきれいです。



【加子母の風景】下区の十王堂。改築前の姿です。雨の加子母は水墨画みたいです。



ちかくのいいもん  
関西のお店 彩都やまもり  
美濃焼タイルのピアス・イヤリング

今回は美濃焼タイルで作った可愛いピアス・イヤリングのご紹介です。

このピアスやイヤリング、実は彩都やまもりのギャラリーに飾られているタイルアートと同じ美濃焼タイルを使ってスタッフが手作りのものです。

タイルそのものの持ち味を生かして、ほんの少しネイルシールなどを施したピアスやイヤリングは1cm程の大きさで、ショートヘアの人はもちろん、少し髪の長いミディアムヘアの人でも髪の間からちらりと見えたときとても綺麗です。あえて左右色違いの組み合わせにしていますので、ワンランク上のおしゃれを楽しめます。

どちらも一点600円。彩都やまもりにございますのでご来場の上げひ手にとってご覧ください。通販もしておりますのでお気軽にお問い合わせください。



彩都やまもり  
大阪府箕面市彩都粟生南1丁目17-26 TEL:072-739-6046  
営業時間:9:00~17:00 定休日:毎週火曜日

ふるまてから こんにちは  
岐阜のお店 すがたらいす

関西の皆さまこんにちは!  
有限会社「すがたらいす」は岐阜県下呂市金山町にあるお米屋さんです。

当店はお米の販売だけでなく、減農薬・有機肥料を使い、稲作一貫作業をとおして美味しく安心して食べていただけるお米づくりにも取り組んでいます。米作りをしている菅田（すがた）地区などは飛騨金山の山から流れるきれいな水と自然に恵まれており、夏の時期ホタルが飛び交うほどの清流・すがた川にちなんで「飛騨ほたる米」と名付けました。

自分たちの手で育てた本当に美味しく安全なお米だけをお届けするため、注文をいただいてから精米して発送しています。

他にも飛騨ほたる米を使ったうどん・「米麺（べーめん）」や「米のラーメン」、「米粉」は小麦アレルギーを持った方にも安心して召し上がりいただける商品となっていますので、ぜひご賞味ください。

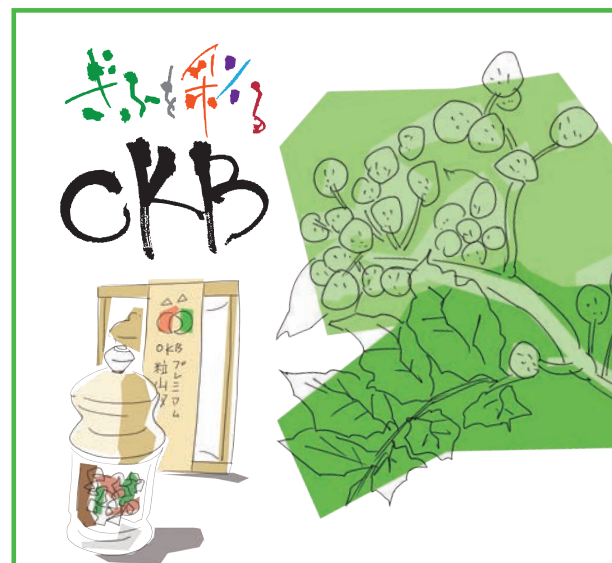


有限会社すがたらいす  
岐阜県下呂市金山町菅田桐洞3256  
TEL:0576-33-2183 <http://sugataraisu.com/>

## 彩都やまもり つとと日記

関西と岐阜のつながり

4月～5月末までの期間、ギャラリーにて「岐阜の陶磁器 美濃焼に触れる」展を開催しました。タイトルをどのように飾ったらいいかを悩んでいたところ、箕面で活動されている陶芸グループ《遊水寮》のHさんが「書こか？」と声をかけてくれました。陶芸だけでなく習字もお上手なHさん。そしてアイデアマンなHさん。なんと、岐阜の伝統工芸品である「美濃和紙」にきれいな字でタイトルを書いてくださったのです！Hさんのおかげで、ギャラリー内の雰囲気ぐっと上品になり、見た目も華やかになりました。ギャラリーでは常時、岐阜県に関するものをメインに展示をしています。時々、《遊水寮》さんや3月に展示して下さった《アトリエはらっぱ》さんのように彩都近辺で活動されている方々の展示もさせていただいています。今回のようにいろいろと彩都やまもりの活動にもご協力いただいでいて、わたしたちとしても何か地域のために貢献できることを考え、「彩都やまもり」という場所を「関西と岐阜をつなげる場所・地域のみなさまのための場所」にしていけたらいいな～と感じたできごとでした。



### OKBプレミアム粒山椒

飛騨の山と土と水に恵まれた赤山椒と青山椒を絶妙なバランスで仕立てた「OKBプレミアム粒山椒」。爽やかな青と芳醇な赤をミックスした飛騨特産の香り高い粒山椒は風味がよく、うなぎや焼き鳥、ステーキなど、さまざまな料理によく合います。「飛騨産の栃材を使用した特製ミル」、「飛騨の山中和紙」も用いたOKBのこだわりが詰まった逸品。是非一度、お試しください。

【販売：大垣正和サービス株式会社】

OKB 大垣共立銀行

<今月のギャラリー案内> 彩輝館ギャラリー

「飛騨高山の工芸品の魅力に触れる」を案内します。

【期間】6月2日(水)～8月2日(月)

透漆で自然のままの木目を生かした「春慶塗」やハゼの実を原料にゆらゆらと揺らめく柔らかな炎が魅力的な「飛騨古川の和ろうそく」、映画「君の名は。」で一躍有名になった「飛騨の組みひも」など、飛騨高山に古くから伝わる伝統工芸や郷土工芸品を紹介・展示します。



飛騨春慶に使われる透漆は塗師それぞれが独自で作っている秘伝中の秘伝で、塗師によって微妙に色調が異なります。飛騨春慶を見たり手にする際、塗師の名前をチェックして色味の違いにも注目してみてくださいね。

《工芸品豆知識》 飛騨春慶について

江戸時代の初め、大工の棟梁・高橋喜左衛門がたまたま打ち割ったサワラの木目の美しさに心打たれ、その木で作った盆を高山城主金森可重(かなもりありしげ)の子、重近に献上しました。その盆を気に入った重近が塗師(ぬし)の成田三右衛門に塗らせたのが由来です。その色目が鎌倉時代の陶工・加藤影正の名作「飛騨春慶(ひしゅんけい)の茶入」に似ていたことから「春慶塗」と名付けられました。

《彩都やまもり今月のイベント》

◆オンラインセミナー「おうちでアロマヨガ教室」を開催します。

先月参加できなかった方も、もう一度参加したい方も大歓迎です。

【日時】 6月16日(水)10:00～11:00※要事前申し込み

【場所】 Zoom 【料金】 1000円(東濃ひのきのアロマオイル付き)

【講師】 Yoga Universe 原田弘子先生

【お問合せ】彩都やまもり(TEL:072-739-6046)

※最新情報は随時、彩都やまもりHP (https://yamamori.site) や facebook でご確認ください。

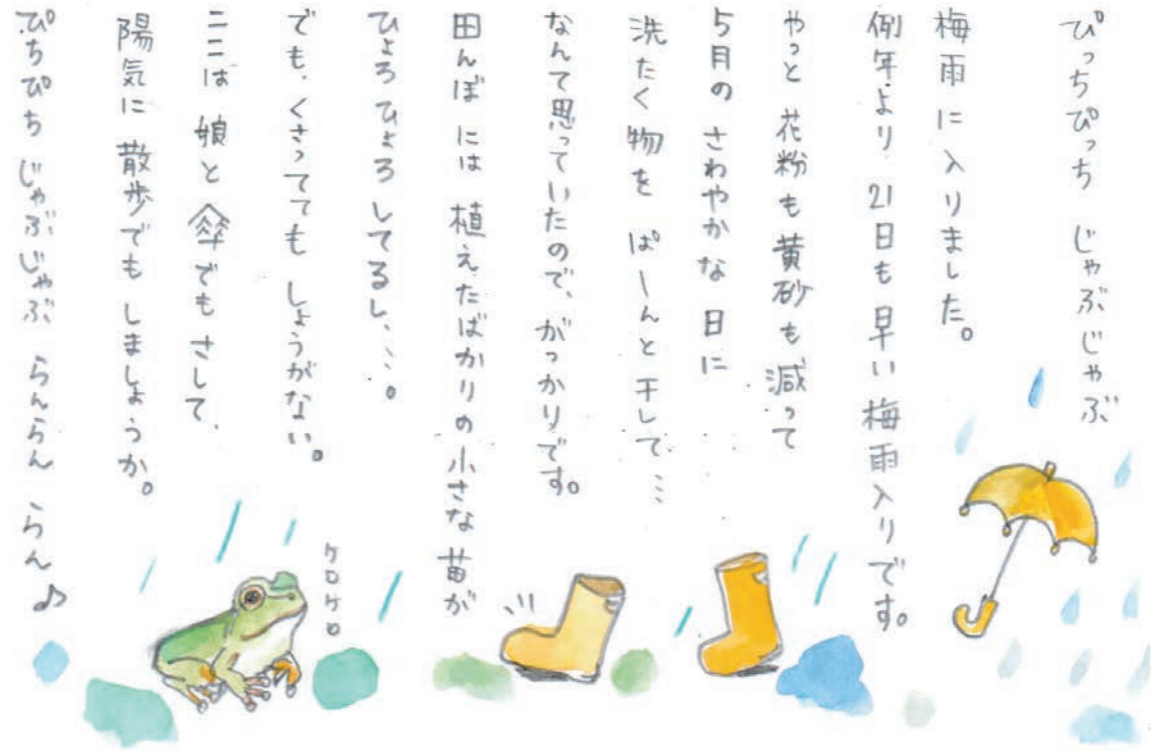


やまもりHP



やまもりfacebook

本間希代子 絵描き・イラストレーター 名古屋生まれ加子母に移住して24年目。古楽器奏者の夫と娘と日々バタバタと加子母ライフを楽しんでいます。アトリエ玉手箱 http://fabkoko.jp



加子母の人 山守日記5  
第63回 読書の情熱

御山守内木彦七の『御山方御用井所持日記』をご紹介します。5回目の今回は、暮らしの中の楽しみををご紹介します。ネットもテレビもない時代、読書はとても楽しみだったことでしょう。

●書物の貸し借り

加子母村は中山道と高山道をつぶる道沿いにありますが、定期的に貸本屋が往来していた形跡はなく、書物は村内外の人々からの貸し借りに頼っていたようです。彦七も、村役人や商家やお寺、また御山守が管轄する付知村や川上村の知人親類から書物を借りていたようです。

中でも村の『酒屋』政助とはよく書物のやり取りをしていたようで、貝原益軒の『初学訓』宮崎安貞の『農業全書』を借りたり、彦七からは箱入りの『前太平記』や『休ばなし』などを貸した記述が残っています。

●欲しい本は写します

借りた本をただ読むだけではありません。彦七は気に入った本や必要な書物を三浦山へ入山する時に持参して、雨の日や夜間など仕事のない時に山小屋で転写していました。そうやって蔵書を増やしていったんですね。気の遠くなるような作業ですが、それだけ書物が貴重なものだったんでしょう。楽しんで書いていたかもしれせんね。

名古屋城下へ赴く時を利用して書物を手に入れ、それを地域の間で貸し借りや転写をしあつて、読書ができる環境を整



●聞くも読書  
自分では読まない(読めない?)村の人々にとっても、書物は意外と身近な存在でした。

明和5年正月11日の日記には「前日に法禅寺から借りた『慶安太平記』を読んでいると『若屋』の清十がやって来て夜更けまで聞いていた」と書かれています。別の時には清十の妻おつきが孫を連れて遊びに来た時に「馳走」として本を読み聞かせたと書かれています。当時の読書が音読で、書物を読み聞かせることが広く行われていたようですね。みんなで物語を楽しむほのぼのとした情景が思い描かれます。【文責 本間】

参考文献：山村の人・家つぎあい―江戸時代の暮らしも生活① 太田尚宏著 徳川林政史研究所発行

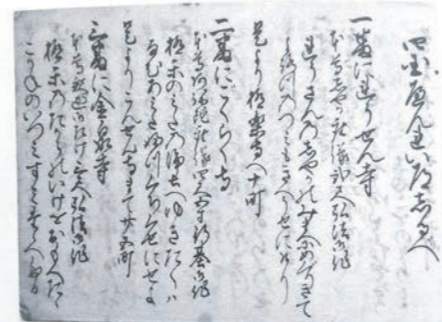


図11 彦七の筆跡による『四国遍礼道指南』(内木哲朗家所蔵)

関西岐阜県人連合会役員(案)

会長	中島紀于
会長代行 (事務局長兼務)	徳田昭憲
副会長	寺岡龍彦
副会長	桂川工
副会長	高野文男
理事	中村勇雄
理事	宮崎誠司
理事	岩崎雅光
理事	岩辻新美
理事	鳴海剛史
理事	山本智篤
理事	岩田野求
理事	羽田尾治
理事	飯尾敏淳
顧問	山本

●大阪県人会・連合会合同総会書面決議での開催と記念式典延期のお知らせ

6月8日(火)に予定しておりました大阪県人会・連合会の合同総会は、新型コロナ感染拡大に歯止めがかからない現状を考え、書面にて決議を行う書面総会とすることにしました。また、昨年より延期しております大阪県人会120周年、連合会10周年の記念式典は残念ながら再度延期させていただきます。今後、新型コロナウィルスの収束状況を見ながら改めて開催日を決定の上ご案内します。

なお、連合会役員案は右記のとおりです。

●「やまもり通信」発行時期変更のお知らせ

いつも「やまもり通信」をご愛読いただきありがとうございます。毎月発行しております「やまもり通信」ですが、今月号より偶数月の発行に切り替えさせていただくことになりました。イベント等の開催案内は、facebookや彩都やまもりHPで、随時更新いたします。

今後とも「やまもり通信」をよろしくお願いたします。